

## 第1号議案

### 知事からの意見聴取について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により知事から意見を求められた平成21年2月定例会に提出される次の議案については、異議がないものとする。

平成21年2月18日

大阪府教育委員会

#### ○ 予算案

- 1 平成21年度大阪府一般会計予算の件（教育委員会関係分）
- 2 平成20年度大阪府一般会計補正予算の件（教育委員会関係分）

#### ○ 条例案

- 1 大阪府立臨海スポーツセンター条例一部改正の件
- 2 大阪府立体育会館条例一部改正の件
- 3 大阪府立門真スポーツセンター条例一部改正の件
- 4 大阪府教育行政事務手数料条例一部改正の件
- 5 大阪府立高等学校等条例一部改正の件
- 6 府費負担教職員定数条例一部改正の件
- 7 大阪府立高等専門学校条例一部改正の件
- 8 大阪府立博物館条例一部改正の件
- 9 大阪府立国際児童文学館条例廃止の件
- 10 大阪府立泉北考古資料館条例廃止の件
- 11 大阪府認定子ども園の認定の基準に関する条例一部改正の件
- 12 職員の給与に関する条例一部改正の件
- 13 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例一部改正の件

[根拠規定]

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第二十九条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分  
その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成  
する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。

# 平成21年度当初予算(案)の概要

資料1

教育委員会

## 1 規模(性質別)

区 分	平成21年度当初予算				構成比	前年比	平成20年度本格予算				構成比
一般会計歳出総額	3兆	391億	4,600万	円	100.0	103.9	2兆	9,246億	8,405万	8千円	100.0
うち人件費	8,586億	697万	2千円		28.3	97.6	8,801億	4,305万	6千円	30.1	
建設事業費	2,273億	5,023万	2千円		7.5	112.2	2,025億	5,040万	8千円	6.9	
建設公共	1,639億	1,726万	5千円		5.4	112.2	1,460億	5,462万	4千円	5.0	
建設単独	634億	3,296万	7千円		2.1	112.3	564億	9,578万	4千円	1.9	
その他	1兆	9,531億	8,879万	6千円	64.3	106.0	1兆	8,419億	9,059万	4千円	63.0
教育委員会予算額	5,762億	1,788万	6千円		19.0	96.9	5,948億	3,431万	3千円	20.3	
人件費	5,462億	4,936万	6千円		94.8	96.6	5,652億	7,212万	3千円	95.0	
建設事業費	82億	6,573万	1千円		1.4	99.5	83億	808万	円	1.4	
建設公共	7億	1,074万	円		0.1	99.6	7億	1,377万	5千円	0.1	
建設単独	75億	5,499万	1千円		1.3	99.5	75億	9,430万	5千円	1.3	
その他	217億	278万	9千円		3.8	102.1	212億	5,411万	円	3.6	

## 2 項別予算内訳《教育委員会》

区 分	平成21年度当初予算				構成比	前年比	平成20年度本格予算				構成比
教育総務費	964億	4,589万	8千円		16.7	104.0	927億	4,265万	2千円	15.6	
小学校費	2,147億	9,579万	4千円		37.3	95.3	2,253億	5,982万	4千円	37.9	
中学校費	1,234億	2,221万	9千円		21.4	97.2	1,270億	3,173万	5千円	21.4	
高等学校費	979億	4,739万	5千円		17.0	92.6	1,057億	2,782万	5千円	17.8	
特別支援学校費	380億	9,599万	7千円		6.6	97.6	390億	4,141万	6千円	6.6	
高等専門学校費	15億	807万	円		0.3	98.7	15億	2,742万	8千円	0.3	
社会教育費	21億	1,096万	8千円		0.4	125.1	16億	8,747万	5千円	0.3	
保健体育費	18億	9,154万	5千円		0.3	110.2	17億	1,595万	8千円	0.3	

## 3 財源内訳《教育委員会》

区 分	平成21年度当初予算				構成比	前年比	平成20年度本格予算				構成比
国庫支出金	1,015億	1,619万	5千円		17.6	97.9	1,037億	641万	9千円	17.4	
地方債	45億	2,600万	円		0.8	20.9	216億	6,500万	円	3.6	
その他	177億	433万	6千円		3.1	105.3	168億	1,896万	7千円	2.8	
一般財源	4,524億	7,135万	5千円		78.5	100.0	4,526億	4,392万	7千円	76.1	

## 4 予算編成別内訳《教育委員会》

区 分	平成21年度当初予算				構成比	前年比	平成20年度本格予算				構成比
義務的経費	5,353億	1,164万	5千円		92.9	96.9	5,521億	9,273万	6千円	92.8	
経常的経費	155億	8,837万	8千円		2.7	93.2	167億	2,501万	7千円	2.8	
政策的経費	253億	1,786万	3千円		4.4	97.7	259億	1,656万	円	4.4	

# 平成21年度 主要施策（教育委員会）

資料2

『大阪の教育力』向上プランの推進

## 目標1 「学校力」を高める

## 主な取組み

平成21年度予算額〔千円〕

<b>【基本方針1】小・中学校で、子どもたちの学力を最大限に伸ばします</b> ○ 学力向上方策の展開 ○ 家庭、地域と連携した学習機会、教育内容の充実 など	・市町村支援プロジェクト事業 <新規> (基金) 496,500 ・習熟度別指導推進事業 1,928,362 ・学習指導ツール開発・実践事業 8,000 ・新学習指導要領移行促進事業<新規> 154,390 ・授業力アップ地域サポート事業 16,335 ・中学校夜間学級通学費援助事業<新規> 6,233 ・おおさか・まなび舎事業 (一部基金) 87,280 他
<b>【基本方針2】すべての府立高校が魅力を高めあい「入ってよかった」と言われる学校をめざします</b> ○ 特色づくり・再編整備の成果と課題を踏まえた府立高校の充実 ○ 幅広い教育ニーズに応える教育内容の充実 など	・府立高等学校のさらなる特色づくり推進事業<新規> 1,000 ・学校提案型個性化推進事業<新規> 14,000 ・大阪ものづくり人材育成事業 15,840 ・スクールカウンセリング・スーパーバイザー配置事業 31,858 他
<b>【基本方針3】障がいのある子ども一人ひとりの自立をしっかりと支援します</b> ○ 府立支援学校の教育環境の充実 ○ 府立高校における知的障がいのある生徒の学習機会の充実 ○ 小・中学校における「ともに学び、ともに育つ」教育の推進 ○ 府立支援学校のセンター的機能の発揮 など	・府立支援学校通学バス運行費 1,392,610 ・府立知的障がい支援学校新校整備費 255,026 ・知的障がいのある生徒の教育環境整備事業 48,096 ・小中支援学級指導体制充実事業 196,002 ・支援教育地域支援整備事業 67,289 他
<b>【基本方針4】子どもたちの健康と体力づくりを進めます</b> ○ 学校体育の充実 ○ 学校における食育の推進 など	・子ども元気アッププロジェクト事業 (基金) 1,200 ・平成21年度全国高等学校総合体育大会開催事業 218,592 ・公立中学校スクールランチ等推進事業 (基金) 125,000 他
<b>【基本方針5】教員の力を高めるとともに、指導が不適切な教員を現場からはずします</b> ○ 熱意ある優秀な教員の確保 ○ 指導が不適切な教員への対応 など	・大阪府熱中先生獲得戦略 18,329 ・教職員の資質向上方策推進事業 5,483 他
<b>【基本方針6】学校の組織力と学校へのチーム支援を強化します</b> ○ 府立学校の組織的な運営と自立的取組みの支援 ○ 小・中学校に対するチーム支援 など	・府立学校教育支援事業 129,184 ・児童生徒支援総合事業 119,482 他
<b>【基本方針7】子どもたちの安全で安心な学びの場をつくりま</b> ○ 学校の安全対策の推進 ○ 計画的な学校施設・設備の改修・改善	・学校安全交付金 500,000 ・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 37,683 ・府立学校耐震対策事業 6,096,210 他

## 目標2 学校・家庭・地域をつなぐ

<b>【基本方針8】家庭との役割分担、地域との協力で子どもたちの学びと育ちを支えます</b> ○ 教育コミュニティづくりの主体的な推進 ○ 生きる力をはぐくむ体験活動や読書活動の推進 など	・地域による学校支援緊急対策事業<新規> (基金) 97,200 ・学校支援地域本部事業 461,533 ・おおさか元気広場推進事業 106,604 ・国際児童文学館移転事業<新規> 587,000 他
---	--

## 目標3 子どもたちの志や夢をはぐくむ

<b>【基本方針9】子どもたちの豊かな心をはぐくみます</b> ○ 子どもの成長過程に応じた教育の充実 ○ 社会全体で「こころ」をはぐくむ取組みの推進 など	・志や夢をはぐくむ教育推進事業<新規> (一部基金) 3,940 ・愛さつOSAKA展開事業<新規> (基金) 5,000 他
<b>【基本方針10】責任を持って行動できる大人に育てます</b> ○ 生徒指導の充実 など	・スクールカウンセラー配置事業 351,356 ・スクールソーシャルワーカー等活用事業 27,803 他

## 教育委員会 平成21年度 当初予算案の概要

担当課:教育政策室 総務企画課  
 担当者:総務予算グループ  
 総括補佐 武田 一雄  
 内 線:3411  
 直 通:06-6944-6050

一般会計	平成21年度当初予算額	5,762億1,788万6千円
	平成20年度本格予算額	5,948億3,431万3千円
	平成20年度最終予算額	5,900億2,156万1千円
	前年比 21当初/20本格	96.9%

## 〔 一 般 会 計 〕

上段 平成21当初

中段 平成20本格

下段 平成20最終

事業名	事業費	事業内容の説明
《「学校力」を高める》 <小・中学校で、子どもたちの学力を最大限に伸ばす> 【学力向上方策の展開】		
市 町 村 支 援 プロジェクト事業費 (大阪教育ゆめ基金活用) 《 新 規 》	4億9,650万円 0 0	基礎基本の定着・活用力の育成を図るため、学力向上に積極的に取り組む市町村に対し補助を行う。 ○学習指導ツールの活用 ・反復学習の実施 ・「よのなか科」の手法を取り入れた総合的な学習 ・モデル授業の活用による研修・授業評価の実施 ・学習習慣の確立や生活習慣の確立 ・学習環境の整備 ・学校独自の課題解決 【17ページ主要事業1参照】
習 熟 度 別 指 導 推 進 事 業 費	19億2,836万2千円 9億6,275万8千円 5億 17万円	府内小中学校の児童生徒の学力向上を図るため、学校の状況にあわせて、学習状況に応じた習熟度別指導を行う。 ○小学校(3年生以上)－国語・算数 ○中学校－国語・数学・英語
学 習 指 導 ツ ー ル 開 発 ・ 実 践 事 業 費	800万円 850万円 850万円	各市町村教育委員会及び学校教職員が一体となって学習指導、評価、家庭学習に至るトータルな学習指導ツールを開発し普及を行い、大阪の子どもたちの学力向上を図る。 ○モデル授業開発 ○単元別テスト開発 ○ワークブック開発 ○学力テスト(到達度評価)開発 (小学校:国語、算数 中学校:国語、数学、英語)

事業名	事業費	事業内容の説明
新学習指導要領移行促進事業費 《新規》	1億5,439万円 0 0	新学習指導要領の先行実施に伴う授業時数の増等に対応するため、非常勤講師を配置し、指導体制の整備を図る。
授業力アップ地域サポート事業費	1,633万5千円 150万円 150万円	府内4ヶ所のカリナビ・ランチに配置した指導員（教員OB等）等が学校訪問などを行い、教員の授業力向上を図るとともに、指導が不適切な教員対策の強化を図る。 【18ページ主要事業2参照】
中学校夜間学級通学費援助事業費 《新規》	623万3千円 0 0	中学校夜間学級に在籍する生徒のうち、経済的に就学困難な生徒の就学を援助するため、就学援助制度を設ける居住市町村に対し、通学に要する費用の1/2を補助する。 【19ページ主要事業3参照】
<b>【家庭・地域と連携した学習機会、教育内容の充実】</b>		
おおさか・まなび舎事業費 (一部:大阪教育ゆめ基金活用)	8,728万円 3,207万3千円 1,850万9千円	府内市町村立小中学校に放課後学習室を開設し、学習支援アドバイザーを配置する事業に対し補助を行う。 ○小学校（400校）中学校（200校）
<b>&lt;すべての府立学校が魅力を高めあい「入ってよかった」と言われる学校をめざす&gt;</b>		
<b>【特色づくり・再編整備の成果と課題を踏まえた府立高校の充実】</b>		
府立高等学校のさらなる特色づくり推進事業費 《新規》	100万円 0 0	府立高等学校の特色づくりの一環として、進学指導に特色のある高校や、新たな専門学科を設置する。 大阪の教育課題を踏まえた研修、研究の充実に向け、教育センター附属研究学校を設置する。 能勢地域での取り組み成果を踏まえ、新たな地域に連携型の中高一貫教育を導入するため、中高連携活動を推進する。 平成23年度の設置を目指し、上記の取り組みを進めるために、必要な調査・検討を行う。 【20ページ主要事業4参照】
府立高等学校特色づくり・再編整備事業費	1億6,638万円 3億4,088万1千円 3億1,588万1千円	府立高等学校の特色づくりと併せて、再編整備計画の推進を図る。 ○施設・設備等の整備（17～19年度実施対象校等） ・17年度実施対象校 千里青雲高校 ⇒教材教具の整備・充実等 ・18年度実施対象校 北かわち阜が丘高校、みどり清朋高校、鳳高校 ⇒教材教具の整備・充実等 ・19年度実施対象校 懐風館高校、りんくう翔南高校、東淀川高校、市岡高校 ⇒内部改修、教材教具の整備・充実等

事業名	事業費	事業内容の説明
<b>【幅広い教育ニーズに応える教育内容の充実】</b>		
学校提案型個性化推進事業費 ( Good Practice 事業 ) 《 新 規 》	1,400万円 0 0	当面する課題テーマ（学力向上、キャリア教育、多文化共生など）について、積極的に取組む府立高校を支援し、先進的な取組みや成功事例の創出を促進するとともに、全国に先駆けた実践事例も取り入れ、それらを発信・共有化することにより、すべての府立高校の教育の質の向上を図る。 【21ページ主要事業5参照】
スクールカラー サポートプラン推進事業費	1億 331万1千円 1億 221万3千円 1億 221万3千円	校長のリーダーシップのもと、各学校ごとにスクールカラーを発揮できるよう、特色ある学校づくりを支援する。 ○スーパーインストラクターの活用（高等学校）
ものづくり・夢づくり 整備事業費	1,424万3千円 2,827万3千円 2,827万3千円	職業学科を設置する高校において、最新の産業の動向や技術革新に対応した特色ある機器整備を行う。
大阪ものづくり人材 育成事業費	1,584万円 3,698万8千円 3,032万9千円	ものづくり人材確保のため、工科高校等が産業界や大学等と連携し、企業等の技術・技能を反映した技術者教育を展開するとともに、産学官からなる「ものづくり教育コンソーシアム大阪」を組織して工科高校に対する評価と各界からの支援により、大阪の産業基盤を継承、発展できる日本一の工科高校づくりを推進する。
工業高等専門学校改革 推進事業費	6,562万1千円 6,967万5千円 6,967万5千円	高度化する産業技術に対応した実践的技術者を育成する高等教育機関として、平成17年度に実施した学科の改編及び専攻科の設置に引き続き、工業高等専門学校の改革を推進するため、教育・研究機能の向上、設備等の充実を図る。 また、工科高校も含めた大阪のものづくり教育の体系の再構築を図るとともに、高専の一層の改革を推進するため、公立大学法人大阪府立大学への移管に向けた検討をすすめる。
外国人による語学 指導充実費	5億9,348万3千円 6億2,964万6千円 6億2,964万6千円	外国語教育を充実し、英語等によるコミュニケーション能力や国際感覚豊かな高校生を育成するため、府立高校への英語指導等を行う 外国青年等の配置及び語学学校等に勤務する外国人指導員の派遣を行う。 ○外国語指導助手等の招致〔ALT〕 83名(8月以降74名) ○外国人英語指導員の配置〔NET〕 33名 ○外国人英語指導員の派遣〔T-NET〕 50校

事業名	事業費	事業内容の説明
学校支援人材バンク 活用事業費	2億3,943万9千円 2億8,416万1千円 2億8,416万1千円	地域や社会で活躍する優れた技能や専門的な知識を有する人を「学校支援人材バンク」に登録し、指導者として学校教育に広く活用する。 ○学校支援社会人等指導者の活用 （高等学校、支援学校） ○特別非常勤講師の活用（高等学校）
<b>【生徒の「自立・自己実現」の支援】</b>		
スクールカウンセリング・ スーパーバイザー 配置事業費 （教育相談体制整備事業費）	3,185万8千円 3,594万円 3,594万円	府立高等学校における長期欠席・中途退学・問題行動等に対する各校の教育相談体制を支援するため、学区ごとにスクールカウンセリング・スーパーバイザー（臨床心理士）を配置する。 ○高等学校 26校（各学区の拠点校に配置） 4人（各学校を巡回）
府立高校就職・就学支援事業費 《 新 規 》	720万9千円 0 0	直面する雇用情勢を踏まえ、就職を希望する高校生を支援するため、卒業後に非正規就労する生徒の多い学校に就職支援員を派遣する。
インターンシップ推進事業費	514万9千円 565万5千円 565万5千円	府立高校生が実際の職場について理解を深め、自ら主体的に職業選択できる能力・態度を培うため、職場見学会、インターンシップ推進事業を実施する。 ○インターンシップの実施 70校
<b>&lt;障がいのある子ども一人ひとりの自立をしっかりと支援する&gt;</b>		
<b>【知的障がい支援学校等の教育環境の充実】</b>		
府立支援学校環境整備事業費	1,278万4千円 1,419万4千円 1,419万4千円	府立支援学校のトイレに温水洗浄便座を設置し、学習環境の改善を図る。
府立支援学校 早期情報教育推進事業費	1,959万3千円 1,959万3千円 1,959万3千円	府立支援学校小・中学部の情報教育環境を充実し、障がいのある児童生徒のITリテラシーの向上を図るため、情報機器を整備する。
府立支援学校 ICT教育環境整備事業費	1,618万8千円 1,884万円 1,884万円	ICT技術（情報コミュニケーション技術）を活用した情報コミュニケーション教育を推進するため、普通教室に情報コンセントを設置する。



事業名	事業費	事業内容の説明
府立支援学校 通学バス運行費	13億9,261万円 13億3,292万円 13億1,897万2千円	児童生徒の通学手段の確保のため通学バスを運行する。 また、通学時間の短縮のためのバスを増車するとともに有料道路の利用を行う。 ○通学バス156台（長時間乗車解消のための9台を含む。）
府立知的障がい支援学校 新校整備事業費・府立支援 学校教育環境整備事業費	2億5,502万6千円 3,624万円 3,624万円	府立知的障がい支援学校の児童生徒数の増加への対応や卒業後の自立に向けた就労を支援するため、豊能・三島地域における新校の基本計画の策定等を行う。 また、新校整備までの間の児童生徒数の増加に対応するため府内4地域において、既存高等学校校舎の改修等を行う。 【22ページ主要事業6参照】
府立視覚支援学校 整備事業費	4,955万8千円 831万円 831万円	府立視覚支援学校の現地建替えを実施するため、校舎の基本設計を行う。 ○20年度 基本計画 21年度 基本設計 22年度以降 実施設計・着工
<b>【府立高校における知的障がいのある生徒の学習機会の充実】</b>		
知的障がいのある生徒の 教育環境整備事業費	4,809万6千円 6,948万6千円 6,948万6千円	知的障がいのある生徒の後期中等教育を充実するため、高等学校において、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進するための環境整備を行う。 ○自立支援推進校 9校 （園芸、柴島、阿武野、西成、松原、 枚方なぎさ、八尾翠翔、堺東、貝塚高校） ※枚方なぎさ、八尾翠翔、堺東、貝塚については平成21年度から1学年の募集人員を2人→3人へ拡大する。 ○共生推進校 1校 （枚岡樟風・・・たまがわ高等支援学校と連携） ※平成21年度から1学年の募集人員を2人→3人へ拡大する。 ※平成22年度から新たに3校指定するため、初度整備を行う。 【23ページ主要事業7参照】
<b>【小・中学校における「ともに学び、ともに育つ」教育の推進】</b>		
小中支援学級指導体制 充実事業費	1億9,600万2千円 1億9,408万4千円 1億9,408万4千円	在籍する児童生徒の障がいの状況が重度化・重複化及び多様化する小中学校の支援学級において、きめ細かな指導体制をつくるため、非常勤職員の配置を行う。
市町村医療的ケア 体制整備推進事業費	5,644万円 4,648万円 4,231万3千円	小中学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、看護師を配置する市町村に対し、その経費の一部を助成する。

事業名	事業費	事業内容の説明
<b>【府立支援学校のセンター的機能の発揮】</b>		
支援教育地域支援整備事業費	6,728万9千円 6,915万4千円 6,915万4千円	府が養成してきた、支援教育推進のためのリーディングスタッフ（支援学校教員及び小中学校教員）が十分に活動できるよう非常勤講師の配置等を行う。
府立支援学校医療的ケア体制整備事業費	138万6千円 229万2千円 229万2千円	府立支援学校における児童生徒に対し、「たん吸引」等の医療的ケアを教員等が実施するための研修を実施する。
府立支援学校福祉・医療関係人材活用事業費	530万1千円 530万1千円 530万1千円	福祉医療関係の専門性を持った人材を特別非常勤講師として配置し、支援学校における教育の充実を図る。
府立支援学校教育活動用具整備事業費	342万円 360万円 360万円	自立活動や総合学習などをはじめ府立支援学校における教育活動の充実を図るため必要な用具を整備する。
<b>&lt;子どもたちの健康と体力づくりを進める&gt;</b>		
<b>【学校体育の充実】</b>		
子ども元気アッププロジェクト事業費 (大阪教育ゆめ基金活用)	120万円 60万円 60万円	大阪の子どもたち（小学生）の心身の健やかな成長や体力の向上を図るため、“熱中・協力・感動”をテーマにスポーツ大会を開催する。 ○ドッジボール大会（H21.11月予定） ○ジャンプアップ（なわとび）大会（H21.12月予定） ○駅伝大会（H22.2月予定）【24ページ主要事業8参照】
平成21年度全国高等学校総合体育大会開催事業費	2億1,859万2千円 1億2,575万6千円 1億1,442万3千円	平成21年7月28日から開催の全国高等学校総合体育大会（主会場：奈良県）のうち、大阪府が担当する4競技について、実行委員会を設置し運営を行う。 ○近畿2府4県において開催
第64回国民体育大会近畿ブロック開催費 《新規》	1,530万円 0 0	国民体育大会近畿ブロック大会を近畿2府4県が持ち回り開催しており、平成21年度（第64回大会）は大阪府で開催する。

事業名	事業費	事業内容の説明
<b>【学校・家庭・地域における健康・体力づくり】</b>		
健康課題対策 サポート事業費	1,878万円 361万8千円 361万8千円	児童生徒の様々な健康課題に対応するため、地域保健と連携した専門医師等の学校への派遣などを行い、健康教育、健康相談活動の充実を図る。
競技力向上対策事業費	2,024万円 4,625万9千円 4,536万7千円	長期的・継続的な競技力の定着化を図り、本府スポーツのより一層の普及・振興を図る。 ○国体選手の強化事業助成等（40競技） ○一般競技の強化助成費（15競技）
<b>【学校における食育の推進】</b>		
公立中学校スクールランチ 等推進事業費 (大阪教育ゆめ基金活用)	1億2,500万円 200万円 200万円	平成21年度から府内公立中学校において、地域の実情に応じて学校給食又は学校給食に極めて近いスクールランチを新規に実施する市町村に対し財政支援を行い、食育の推進と保護者負担の軽減を図る。  【25ページ主要事業9参照】
府立学校給食実施費	1億5,228万3千円 1億2,207万1千円 1億2,207万1千円	府立支援学校の学校給食調理業務の委託及び夜間定時制高校における、デリバリー給食を実施。 ○府立支援学校給食調理業務委託 箕面・八尾・和泉・吹田・富田林・茨木の各支援学校 堺・だいせん高等の各聴覚支援学校 ○デリバリー給食実施 15校
学校給食食中毒防止 対策事業費 (一部再掲)	1,624万3千円 1,722万円 1,722万円	○157による集団食中毒を教訓として、学校給食における安全性の確保を図る。 ○府立学校給食用老朽備品の更新 ○給食用食材の定期検査 ○栄養教諭・栄養職員研修の実施等

事業名	事業費	事業内容の説明
<b>&lt;教員の力を高めるとともに、指導が不適切な教員を現場からはずす&gt;</b>		
<b>【将来、管理職となる教員の養成】</b>		
教職員研修の充実 (一部：大阪教育ゆめ基金活用)	2億5,309万円 2億7,764万4千円 2億7,674万4千円	教職員研修 <府教育センターで実施する研修> 総合研修 36講座 課題別研修 72講座 合計 108講座 <各課で実施する研修> ・教育課程講習会 ・小学校外国語活動支援研修(新規) 府教育センター運営費 ・カリキュラムNAV i プラザの運営 ・リーディング・ティーチャー養成研修(新規)
<b>【熱意ある人材の確保】</b>		
大阪府熱中先生獲得戦略	1,832万9千円 2,043万7千円 2,043万7千円	教育者としての資質、意欲にあふれた人材を確保するため、 教員採用選考テストのPR活動に力を入れるとともに、教員 採用選考の一層の工夫・改善に努める。 ○説明会・広報活動の充実等 ○学生及び合格者を対象とした事業の実施 ・大阪教志セミナーの実施 ・合格者対象セミナーの実施
<b>【指導が不適切な教員への対応】</b>		
教職員の資質向上方策 推進事業費	548万3千円 444万2千円 444万2千円	改正教育公務員特例法に基づき、「指導が不適切である」教 諭等への認定及び指導改善研修など具体的な対応を実施する。 地公法、地教行法に基づき、教職員の意欲・資質能力の一層 の向上と学校の活性化をめざして、教職員の評価・育成シス テムを実施する。

事業名	事業費	事業内容の説明																																			
<p>＜学校の組織力と学校へのチーム支援を強化する＞</p> <p>【学校運営体制の確立等】</p> <p>〔教職員定数〕 （一部再掲）</p>	<p>4,597億2,038万5千円 4,821億8,301万3千円 4,754億5,908万4千円</p>	<p>1. 定数の状況 《小学校・中学校・高等学校》</p> <table border="1" data-bbox="767 495 1449 887"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">教職員定数</th> </tr> <tr> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>27,418</td> <td>27,180</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>14,975</td> <td>14,812</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>10,115</td> <td>10,156</td> <td>△ 41</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>4,454</td> <td>4,324</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>工業高等専門学校</td> <td>140</td> <td>141</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>57,102</td> <td>56,613</td> <td>489</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 首席・指導教諭の配置 府立学校は18年度、小中学校は19年度から</p> <p>※ 准校長（20年度に副校長から名称変更）の配置 府立学校に19年度から</p> <p>2. 学級編制基準</p> <p>小学校 40人（支援学級 8人） ※1・2学年については35人の学級編制を実施</p> <p>中学校 40人（支援学級 8人）</p> <p>高等学校 40人</p> <p>特別支援学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚部 6人</li> <li>・ 小・中学部 6人</li> <li>・ 高等部(本科) 8人</li> <li>・ 重複障害学級 3人</li> <li>・ 訪問学級 3人</li> </ul>	区 分	教職員定数			21年度	20年度	増減		人	人	人	小学校	27,418	27,180	238	中学校	14,975	14,812	163	高等学校	10,115	10,156	△ 41	特別支援学校	4,454	4,324	130	工業高等専門学校	140	141	△ 1	合 計	57,102	56,613	489
区 分	教職員定数																																				
	21年度	20年度	増減																																		
	人	人	人																																		
小学校	27,418	27,180	238																																		
中学校	14,975	14,812	163																																		
高等学校	10,115	10,156	△ 41																																		
特別支援学校	4,454	4,324	130																																		
工業高等専門学校	140	141	△ 1																																		
合 計	57,102	56,613	489																																		

事業名	事業費	事業内容の説明
<b>【府立学校の組織的な運営と自立的取組みの支援】</b>		
府立学校教育支援事業費	1億2,918万4千円 1億3,127万円 1億3,127万円	学校教育の推進と円滑な学校運営を図り、校長のリーダーシップとマネジメント能力を発揮できるよう、学校長の裁量に基づく教育活動等を支援する。
教育総合相談事業費	1,663万6千円 1,877万1千円 1,877万1千円	様々な悩みを持つ子どもや保護者等に対し、インターネット等の手法も活用し、効果的かつ効率的な相談を実施する。 ○専用電話相談の実施 ○24時間相談窓口の実施 ○教職員の悩みの相談の実施 ○対面相談の実施 ○集中電話相談の実施
<b>【小・中学校に対するチーム支援】</b>		
児童生徒支援総合事業費	1億1,948万2千円 0 0	生徒指導上の課題を総合的に捉えた支援対策として、被害者救済システムの運用、24時間電話相談の実施、問題行動への対応や不登校児童生徒に対する支援、また、子ども・学校支援チームによる緊急支援に取り組む。
<b>【校務の効率化】</b>		
教育総合情報ネットワーク基盤整備事業費	2億184万6千円 1億7,988万1千円 1億7,547万8千円	府立学校における情報通信ネットワークの基盤整備を行うことにより、IT教育の活性化及び業務の効率化を図るとともにインターネット等を活用した研修の実施など、教育センターにおける研修・研究機能の充実を図る。
学校情報ネットワーク整備事業費	5億7,707万6千円 5億7,956万円 5億7,956万円	学校図書館をインターネットをはじめとする情報通信機能を付加した「学習情報センター」として運営するとともに、校内LANや教育センターと各学校とのネットワークの運用を行う。

事業名	事業費	事業内容の説明
<p align="center"><b>&lt;子どもたちの安全で安心な学びの場をつくる&gt;</b></p>		
<p><b>【学校の安全対策の推進】</b></p>		
<p>学校安全交付金</p>	<p>5億円 5億 80万円 4億7,593万9千円</p>	<p>市町村立小学校及び特別支援学校に警備員等の配置や防犯設備等の設置など、地域や学校の実情に合わせて児童等の学校生活の安全を確保するための取組みを行う市町村を支援する。 【26ページ主要事業10参照】</p>
<p>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費</p>	<p>3,768万3千円 5,559万6千円 5,559万6千円</p>	<p>学校安全ボランティア(スクールガード)を活用した効果的な安全体制を整備し、地域との連携を重視した学校安全に関する取組みを行う。</p>
<p><b>【計画的な学校施設・設備の改修・改善】</b></p>		
<p>府立学校耐震対策事業費</p>	<p>60億9,621万円 68億8,029万7千円 65億9,886万8千円</p>	<p>府立高等学校、支援学校の建物の耐震補強工事を大規模改修工事と併せて行う。 ○高等学校 30校・64棟 ○支援学校 4校・4棟</p>
<p>高等学校等施設・設備改修費〔一部再掲〕</p>	<p>40億7,346万1千円 30億8,266万3千円 36億9,501万4千円</p>	<p>府立高等学校の建物の大規模改修や福祉整備等の改修工事を行い、良好な教育環境の確保を図る。 ○耐震大規模改修事業 ・設計及び耐震診断 ・大規模改修及び耐震補強工事費 ○福祉のまちづくり関連整備 ・エレベータ設置工事 ・スロープ、手すりの設置、便所改修等 ○施設整備費等</p>
<p>支援学校施設設備改修費〔一部再掲〕</p>	<p>6億3,058万8千円 4億 211万8千円 3億8,420万円</p>	<p>府立支援学校の建物の大規模改修や福祉整備等の改修工事を行い、良好な教育環境の確保を図る。 ○耐震大規模改修事業 ・設計及び耐震診断 ・大規模改修及び耐震補強工事費 ○施設整備費等</p>

事業名	事業費	事業内容の説明
富田林支援学校 校舎増築工事費	3億2,103万7千円 5,222万5千円 1億5,976万円	府立金剛コロニーの再編整備に伴う学齢期入所者の増加をはじめとする富田林支援学校の児童生徒数の増加に対応するため校舎の増築工事を行う。
高等学校教育環境 改善事業費	14億8,074万5千円 14億8,078万円 14億8,077万円	夏季休業期間を中心に府立高等学校において行われている多様な取り組みの教育効果を高めるとともに、さらなる教育環境の向上を図るため、普通教室等に導入した空調機により、快適な学習空間を提供する。 ○契約手法：一括業務委託方式 契約期間：平成15年度～平成28年度
高等学校等学校管理費	45億5,131万6千円 48億1,888万円 48億1,888万円	高等学校等における維持管理運営経費 ○高等学校管理費 ・学校環境改善事業 ○支援学校管理費 ○工業高等専門学校管理費
<b>《学校・家庭・地域をつなぐ》</b>		
<b>〈家庭との役割分担、地域との協力で子どもたちの学びと育ちを支える〉</b>		
<b>【教育コミュニティづくりの主体的な推進】</b>		
地域による学校支援 緊急対策事業費 (大阪教育ゆめ基金活用) 《 新 規 》	9,720万円 0 0	学校と地域の連携体制を定着・発展させるため、学校支援地域本部の活動拠点となる地域住民の居場所づくりを行うとともに、子どもの生活リズムの向上などをねらいとする、地域による継続的な学校支援に積極的に取り組む市町村に補助を行う。 【27ページ主要事業11参照】
学校支援地域本部事業費	4億6,153万3千円 4億4,092万5千円 2億 380万3千円	中学校区単位で学校支援地域本部を設置し、地域ぐるみで学校教育を支援する体制を整備する。
<b>【生きる力をはぐくむ体験活動や読書活動の推進】</b>		
おおさか元気広場推進事業費	1億 660万4千円 1億1,955万4千円 9,621万円	子どもの安全で安心な活動場所を確保し、多くのボランティアの協力を得て、子どもの体験・交流活動等の活性化、学校教育活動と連携した学習機会の提供に地域社会全体で取り組むことにより「教育コミュニティづくり」を推進する。 ○おおさか元気広場 412小学校区



事業名	事業費	事業内容の説明
府立図書館運営費	6億4,730万8千円 6億7,968万1千円 6億5,973万2千円	生涯学習、高度情報時代にふさわしい総合的な図書館サービスを提供する。 ○中之島図書館運営費 開館日 270日(平成20年度)⇒289日(19日増) ○中央図書館運営費 開館日 276日(平成20年度)⇒299日(23日増)
社会教育施設運営費	2億7,785万5千円 2億8,767万3千円 2億7,830万3千円	社会教育の諸活動を振興することを目的として、社会教育施設を運営する。 ○少年自然の家運営費 ○国際児童文学館運営費 ○中之島図書館別館(サテライト教室)運営費
国際児童文学館移転事業費 《新規》	5億8,700万円 0 0	国際児童文学館の所蔵資料をより多くの府民に提供することを目的として、中央図書館への移転を実施する。 【28ページ主要事業12参照】
<p>《子どもたちの志や夢をはぐくむ》</p> <p>〈子どもたちの豊かな心をはぐくむ〉</p> <p>【小・中・高すべての子どもの成長過程に応じた教育の充実】</p>		
志や夢をはぐくむ 教育推進事業費 (一部：大阪教育ゆめ基金活用) 《新規》	394万円 0 0	豊かな情操や人間性、夢や理想の実現に向かって生きる力、志を持って自立していくために必要な能力、社会に寄与する態度等を、子どもの成長過程に応じて育成するため、全国に先がけて、小中高等学校一貫した「志(こころざし)」教育のカリキュラム等の作成とその実践を行う。 ○教師用指導書・指導教材の作成 【30ページ主要事業13参照】
<p>【国際理解教育の推進】</p>		
帰国・渡日児童生徒 学校生活サポート事業費	186万7千円 196万4千円 196万4千円	日本語指導を必要とする帰国・渡日児童生徒やその保護者等を対象に市町村との連携のもと、進路ガイダンス等を実施するとともに、ホームページを活用して6言語による学校での生活や進路情報を提供する。
日本語教育学校支援事業費	906万6千円 764万8千円 764万8千円	日本語指導が必要な外国人生徒が在籍する府立高等学校に対し、日本語・母語指導や生活適応指導等を行える教育サポーター等を派遣する。また、「教科学習のための指導資料」を作成し、帰国・渡日生徒等の教科の学力向上を図る。

事業名	事業費	事業内容の説明
<b>【社会全体で「こころ」をはぐくむ取組みの推進】</b>		
愛さつOSAKA展開事業費 (大阪教育ゆめ基金活用) 《 新 規 》	500万円 0 0	「こころの再生」府民運動の7つのアクションの一つである「あいさつをもっと大切にしよう」の実践に向け、「愛さつOSAKA」のロゴマークやのぼり等を活用し、あいさつ運動を府内全市町村及び小中学校等で展開する。
<b>【教育資源の有効活用】</b>		
府立博物館管理運営費	3億 490万3千円 3億 272万円 3億 272万円	府立の博物館（教育委員会）の管理運営を行う。 ○弥生文化博物館管理運営費 ○近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘管理運営費 ○泉北考古資料館管理運営費
泉北考古資料館 移管準備事業費 《 新 規 》	2,402万9千円 0 0	平成21年度中に堺市に移管するために必要な改修工事等の準備事業を行う。
百舌鳥・古市古墳群 世界文化遺産登録推進事業費 《 新 規 》	227万8千円 0 0	百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産への登録を実現するために、府・堺市・羽曳野市・藤井寺市が共同して事業推進を図る。 ○百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録有識者会議 ○百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進府市合同会議 (負担割合:大阪府:堺市:羽曳野市:藤井寺市=3:3:1:1) 【31ページ主要事業14参照】
文化財観光・活用 振興事業費	1,144万3千円 1,742万4千円 1,742万4千円	府の観光施策及び文化財保護の推進を図るため、傷みが激しく公開できる状況にない府内の国指定文化財の修復・整備、及び観光資源としての公開・活用に対する補助を行う。
指定文化財等保存事業費	3,004万8千円 5,771万5千円 5,771万5千円	国及び府指定文化財の保存修理等に対する助成等を行う。 ○有形文化財保存修理等 ○(財)文楽協会伝承事業費補助

事業名	事業費	事業内容の説明
<p>＜責任を持って行動できる大人に育てます＞</p>		
<p>【生徒指導の充実】</p>		
<p>スクールカウンセラー 配置事業費</p>	<p>3億5,135万6千円 3億5,140万4千円 3億5,140万4千円</p>	<p>いじめや不登校などへのきめ細かな対応を図るため、児童生徒の心のケアとモチベーションの回復や保護者等の悩みの相談等に効果的な役割を果たすスクールカウンセラー（臨床心理士）を府内中学校に配置する。 ○平成21年度配置 大阪市・堺市を除く全中学校</p>
<p>スクールソーシャル ワーカー等活用事業費</p>	<p>2,780万3千円 7,831万2千円 8,196万3千円</p>	<p>学校と福祉をつなぐ専門家として、スクールソーシャルワーカーを府内市町村に派遣し、子どもの生活環境に働きかけることにより問題行動等の未然防止・早期対応・早期解決を図る。</p>

## 平成20年度 2月補正予算案の主要概要

一般会計	平成20年度2月補正予算額	▲48億1,275万2千円
	平成20年度現計予算額	5,948億3,431万3千円
	平成20年度最終予算額	5,900億2,156万1千円

### 〔 一 般 会 計 〕

上段 今回補正  
 中段 平成20現計  
 下段 平成20最終

事業名	事業費	事業内容の説明
大阪教育ゆめ基金運営費	10億1,000万円 0 10億1,000万円	大阪の子どもたちの確かな「学び」と「はぐくみ」を支え、教育の重要課題に必要な応じて教育環境の充実を図るために設置した「大阪教育ゆめ基金」に積立を行う。
府立学校耐震対策事業費 (国2次補正関連)	18億2,441万7千円 68億8,029万7千円 65億9,886万8千円 ※最終予算額は通常分の2月補正額▲21億584万6千円を含む	府立高等学校の建物の耐震補強工事を大規模改修工事と併せて行う。 ○高等学校 10校・22棟
電波障害施設対策事業費 地上デジタル放送受信機器整備費 (国2次補正関連)	2億6,290万3千円 0 2億6,290万3千円	電波法の改正により平成23年7月24日にアナログテレビ放送が終了し地上デジタル放送に切り替わることに伴い、既設のアナログ放送用電波障害対策施設を地上デジタル放送対応施設へと切り替える。 また、高等学校、支援学校、工業高等専門学校に設置のテレビを地上デジタル放送を受信できるものへの更新を行う。

担当課	市町村教育室小中学校課
担当者	教務グループ 寺西、門原
内線	3479
直通	06-6944-6889

## 市町村支援プロジェクト事業

### 【事業目的】

平成 19・20 年の全国学力・学習状況調査から明らかになった課題解決に向けて、積極的に取り組む市町村や小中学校を支援し、学力の向上をめざす。

府教育委員会が示す「学力向上のための取組メニュー」を参考にして、各市町村や学校が個々の課題に応じた改善計画を策定し、特色ある取組を実施する。

【平成 21 年度当初予算額】 496,500 千円【大阪教育ゆめ基金活用】

### 【事業内容】

#### (1) 対象校数等

府内小・中学校 662 校（政令市除く）、1 校あたり 75 万円を上限に定額補助

#### (2) 事業実施期間

平成 21・22 年度の 2 年間

#### (3) 内容

各学校は、「基礎基本・活用力の育成」「授業改善・学習環境の整備」「学校独自の課題解決」などの視点から、改善計画を策定し学力向上に積極的に取り組みます。



### 大阪府の小・中学校の学力向上！

#### 《取組メニュー例》

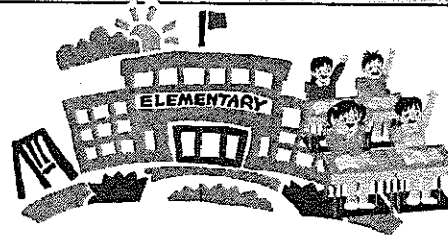
**反復学習**

計算・漢字・音読等  
携帯ゲーム機の活用  
パソコンの活用

**授業改善**

モデル授業、授業評価  
データ分析による授業改善

「学習指導ツール」を活用した  
基礎基本・活用力の育成



「よのなか科」の手法を取り入れた  
**総合的な学習**

**学習習慣  
生活習慣の確立**

朝食摂取、あいさつ運動  
家庭学習支援

**学習環境の整備**

**学校独自の課題解決**

担当課：大阪府教育センター  
 担当者：教育企画部長 清水 隆  
 直通：06-6692-1091

## “授業力アップ地域サポート事業”

### カリナビ・ブランチの機能を充実・強化します

～教員の授業力を向上して、子どもたちの学力アップを！～

大阪府教育センターでは、昨年10月から、府内4ヶ所の府民センター内に、カリナビ・ブランチ（カリキュラムNAVイプラザの支所）を開設し、学校づくり、授業づくりをサポートするカリキュラムセンターとして、市町村教育委員会と連携し、各学校への相談・支援体制の充実を図ってまいりました。

平成21年度に向けて、このカリナビ・ブランチの機能をさらに充実・強化し、「大阪の教育力」向上プランの重点項目として示された「学力向上方策」「授業力の向上と教職経験の少ない教員への指導・育成」「指導が不適切な教員への対応」などの課題への対応を具現化するため、「出かける教育センター」として、各学校の授業改善をサポートします。

【平成21年度当初予算額】 16,335千円

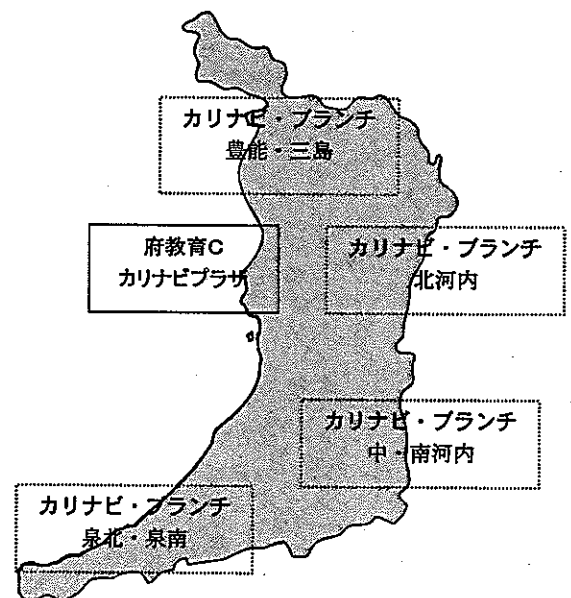
#### 【事業概要】

カリナビ・ブランチ（4ヶ所）及びカリナビに配置する「授業力向上指導員（退職校長等）」の体制を充実。センターの指導主事とともに、府内すべての小・中学校（政令市を除く）と府立学校を訪問し、初任者など教職経験の少ない教員や指導に課題のある教員への指導、支援を行います。

#### 【学校への支援内容(例)】

- 初任者等教職経験の少ない教員への支援
  - ・校内研修における研究授業による指導育成を支援
  - ・指導案作成や教材づくりなどへの助言
- 指導に課題のある教員への対応
  - ・指導に課題のある教員の把握
  - ・校長や市町村教委と連携し、教員評価支援チームと協力して継続的に支援
- 学力向上方策の支援
  - ・学力向上推進校51校における授業改善への支援
  - ・各学校の課題に対し、要請に応じて支援
- 校内研修の活性化への支援
  - ・各学校の課題に応じてテーマ設定された研修会の講師
  - ・研究授業を伴う校内研修での指導助言等
  - ・授業評価の組織的な取り組みへの支援

#### 【授業力向上指導員の配置】



担当課	市町村教育室小中学校課
担当者	学事グループ 和泉
内線	3425
直通	06-6944-6886

## 中学校夜間学級通学費援助事業

### 【事業目的】

中学校夜間学級では、学齢期に様々な理由により義務教育を修了できなかった方々が学んでおり、在籍する生徒のうち、経済的に就学困難な生徒の就学を援助するため、通学に要する費用の2分の1を市町村に補助します。

【平成21年度当初予算額】 6,233千円

【事業実施期間】 平成21年度～23年度の3年間

### 【事業内容】

- これまで、夜間学級を設置している7つの市が、支援を必要とする生徒に就学援助を行い、府がその費用の2分の1を補助してきました。
- 本事業では、夜間学級に在籍している生徒が居住する市町村において、経済的に就学困難な生徒に対して、就学援助を実施した場合、2年間にわたり、その中の通学費に要した金額の2分の1を補助します。
- 本事業は、これまで夜間学級を設置している市が行ってきた就学援助を、平成21年度以降、生徒が居住する市町村で行うように制度を移行するため実施するものです。

府内では、7市にある11校に中学校夜間学級が設置され、設置市以外の35市町村からも生徒が通っています。(平成20年度)

大阪府立天王寺中学校

大阪府立天満中学校

大阪府立東生野中学校

大阪府立文の里中学校

豊中市立第四中学校

守口市立第三中学校

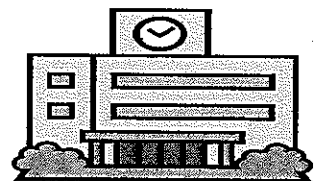
東大阪府立長栄中学校

東大阪府立太平寺中学校

八尾市立八尾中学校

堺市立殿馬場中学校

岸和田市立岸城中学校



### 中学校夜間学級について

中学校夜間学級は、学齢期に様々な理由により、義務教育を修了できなかった人に対して、中学校教育を行うことを目的に開設されています。

平成20年度、府内11校の夜間学級に約1,300人の生徒が在籍しています。

担当課：教育振興室高等学校課  
 担当者：教務グループ 福永  
 内 線：3420  
 直 通：06-6944-6887

## 府立高等学校のさらなる特色づくり推進事業

### 【事業目的】

大阪府教育委員会では、「『大阪の教育力』向上プラン（平成21年1月）」に基づき、多様な進路選択を実現する教育機関としての府民の期待に応えるため、府立高等学校のさらなる特色づくりを推進し、「『入ってよかった』と言われる学校づくり」をめざしています。

各校が互いに切磋琢磨して教育内容の充実を図ることにより、「教育日本一大阪」を実現します。

【平成21年度当初予算額】 1,000千円  
 ※教育内容の検討のための事務経費

### 【事業内容】

#### (1) 「進学指導特色校」～卓越性の追及～

- ・平成23年度から進学指導に特色を置いた専門学科「文理科（仮称）」を府立高校10校に設置し、府内全域から生徒を募集
- ・大学進学につながる学習を深化させることにより、次代をリードする人材を育成
- ・きめ細やかな進学サポート体制や、10校共通テストなどにより進学実績の向上をめざす

#### (2) 「教育センター附属研究学校」～先進的な研究～

- ・平成23年度に「教育センター附属研究学校」を設置
- ・全国初の試みとして、教育センターの研究・研修機能と附属研究学校の教育活動とを直結し、実践・研究・研修を展開
- ・「大阪の教育課題をふまえた先進的教育の実施」「附属研究学校における諸研修」「授業改善研究」などにより、府内全域に実践・研究の成果を発信し、全体化を図る

#### (3) 「新たな地域での中高一貫教育校」～連携の推進～

- ・能勢地域の「連携型中高一貫教育」の成果を踏まえ、効果の高い教育手法を、比較的交通が便利で、中学校数が多い地域に導入することにより、都市型の連携型中高一貫教育を実施
- ・中高の教育課程の円滑な接続等を通じ6年間の一貫した教育を行うことにより、生徒の進路意識の向上や学校の教育活動の活性化を図る

#### (4) 「新たな学科・専門コース」～多様性の追求～

##### ＜新たな体育科＞

- ・淀川以北の北部地域に設置
- ・将来のトップアスリートや体育指導者のみならず、メンタルトレーナーやスポーツ・福祉施設指導員など、幅広いスポーツ分野で活躍する人材を育成

##### ＜専門コース＞

- ・デュアル、情報ビジネス、介護福祉、ペアレンティング（保育、親学習）など、生徒の多様な興味・関心やニーズに応え、希望進路の実現を図る



担当課：教育振興室高等学校課  
担当者：教務グループ 福永  
内線：3420  
直通：06-6944-6887

## 学校提案型個性化推進事業（Good Practice 事業）

### 【事業目的】

各府立高等学校の学力向上、生徒指導、地域連携などの先進的な取り組みや成功事例の創出を促進するとともに、それらを発信・共有することにより、すべての府立高等学校の教育の質の向上を図る。

【平成21年度当初予算額】 14,000千円

### 【事業内容】

#### (1) 事業概要

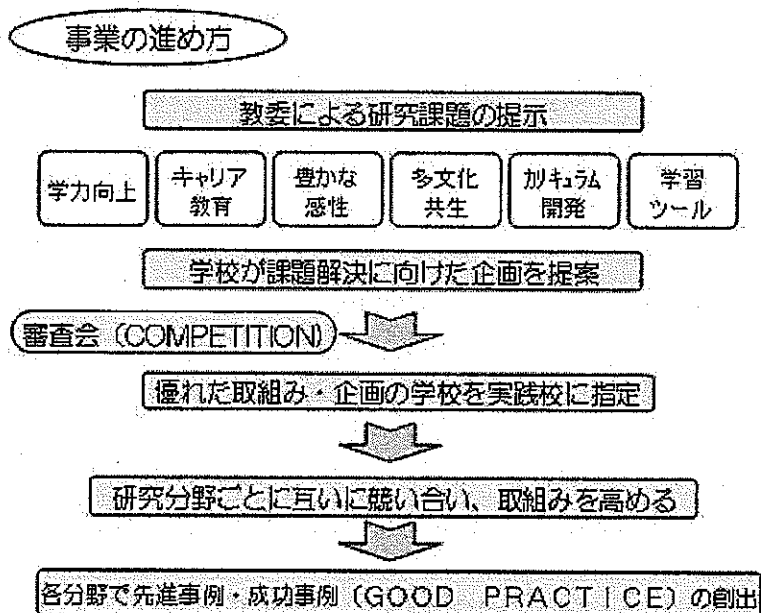
教育委員会が教育上の研究課題を示し、各府立高等学校が企画を提案する。教育委員会が、優れた取り組み・企画の学校を実践研究校に指定し、実践研究校は互いに競い合いながら取り組みを高め、先進事例・成功事例（GOOD PRACTICE）を創出する。研究の成果を、すべての府立高校に発信し成果の普及を図るとともに、府立高等学校の教育の質の向上を図る。

#### (2) 指定期間 1年間

#### 事業の進め方

#### (3) 研究課題例

- 学力向上
- キャリア教育
- 豊かな感性
- 多文化共生
- カリキュラム開発
- 学習ツール



担当課	教育振興室 支援教育課
担当者	支援学校グループ 松下、黒田
内線	4732・4733
直通	06-6941-0618

～府立支援学校の教育環境の整備・充実～

平成25年度までに府内4地域で新校整備に着手。

- ・府立知的障がい支援学校新校整備事業 19,641千円
- ・府立支援学校教育環境整備事業 235,385千円

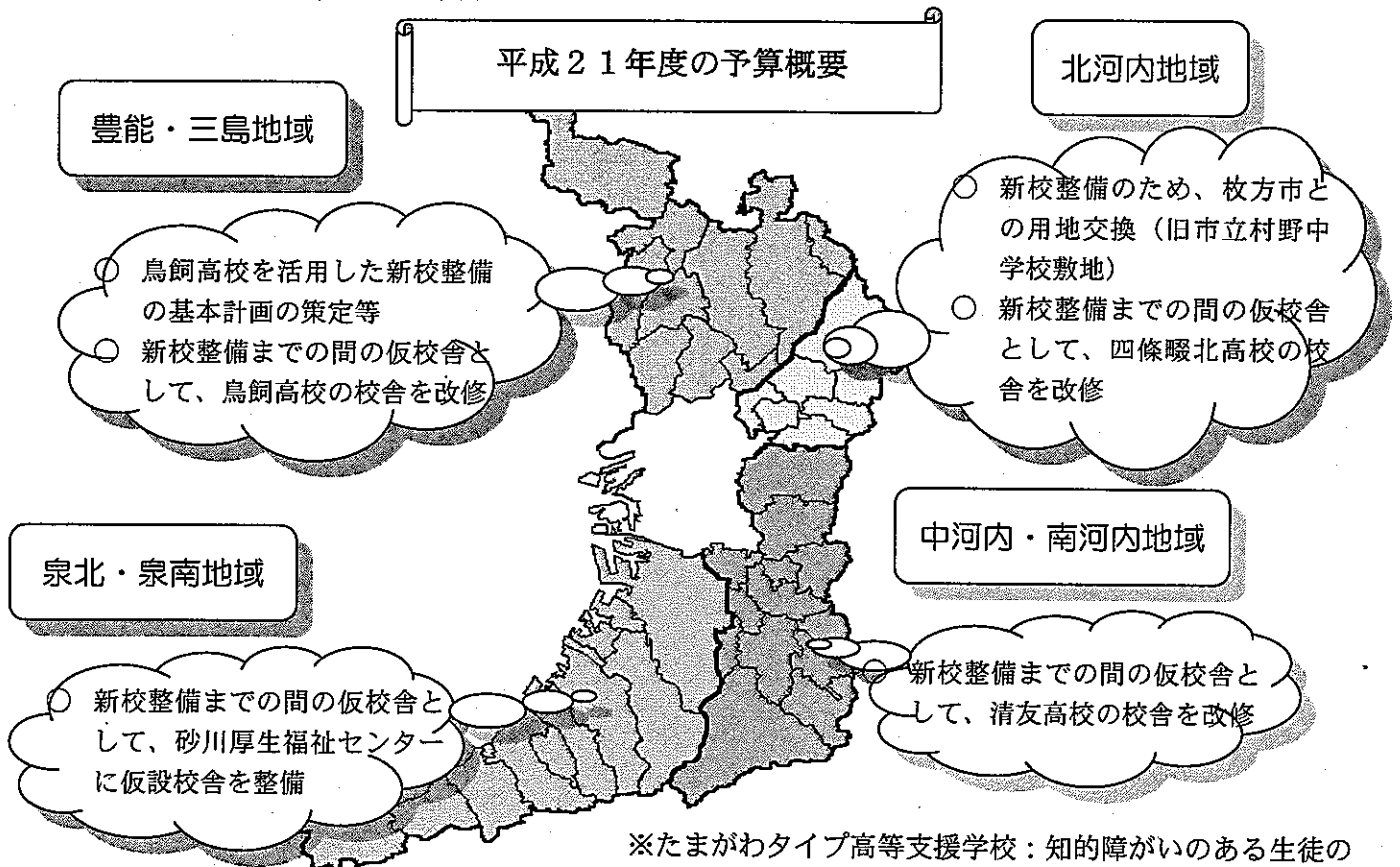
1 趣 旨

府立支援学校における知的障がいのある児童・生徒数の増加に対応するため、新校を整備するとともに、就労を通じた社会的自立を支援する観点から、知的障がいのある生徒の就労を通じた社会的自立をめざす「たまがわタイプ高等支援学校」の併設を行い、府立支援学校の教育環境の充実を行う。

2 内 容

豊能・三島地域における新校（たまがわタイプ高等支援学校を併設）の基本計画の策定等を行うとともに、新校整備までの間の児童生徒数の増加に対応するため、既存高等学校校舎の改修等を行う。

3 予算額 255,026千円



担当課：教育振興室 支援教育課  
 担当者：調整グループ 有本、長谷川  
 内線：4735  
 直通：06-6941-6890

～高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育の推進～  
 知的障がいのある生徒の教育環境整備事業

現 状

自立支援推進校

知的障がい生徒自立支援コースを高等学校に設置し、充実したカリキュラムや授業内容を通して、知的障がいのある生徒と障がいのない生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を実践しています。

設置校：9校  
 募集人員：23人 \*5校：3人  
 \*4校：2人

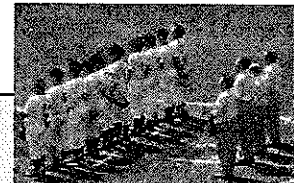


仲間とともに耐寒登山

共生推進校

たまがわ高等支援学校の共生推進教室を高等学校に設置し、両校の連携のもと、たまがわ高等支援学校の生徒が、高等学校の生徒と「ともに学び、ともに育つ」教育とともに、就労支援を実践しています。

設置校：1校  
 募集人員：2人



公式戦に仲間と出場

平成21年度～

知的障がいのある生徒の教育環境整備事業費 48,096千円

☆ 募集人員の増

- ・ 自立支援推進校：23人 ⇒ 27人
- ・ 共生推進校：2人 ⇒ 3人

\*すべての学校で3人

☆平成22年度に共生推進校を新たに3校設置するための内部改修費等

\*高等学校の4つの通学区域にそれぞれ配置

担当課：教育振興室 保健体育課  
 担当者：競技スポーツグループ 山崎・宮崎  
 内線：3473  
 直通：06-6944-9366

子ども元気アッププロジェクト事業

【平成21年度予算案】 1,200千円【大阪教育ゆめ基金活用】

ねらい

- 大阪の子どもたち（小学生）の心身の健やかな成長や体力の向上を図るため“熱中・協力・感動”をテーマにスポーツ大会を実施する。
- 学校現場における『仲間づくり（チームづくり）』の推奨
- ジャンプアップ大会は「跳躍力・持久力」、ドッジボール大会は「投力・体を巧みに動かす能力」、駅伝大会は「走力・持久力」に着目

平成20年度

大会名	開催日	開催会場	中央大会 出場校数	新たな取組み内容
ドッジボール大会	11月15日(土)	府立門真スポーツセンター	中学年 16校 高学年 24校	◎チーム対抗戦に加え、「ドッジボール投げコンテスト」を開催。
ジャンプアップ大会	1月31日(土)	府立体育会館	大なわとび 42校 自由演技部門 7校	◎大なわとび部門に、低学年（小1・2年生）の部を開催。

発展・拡充

平成21年度

大会名	開催日	開催会場	中央大会 出場校数	備考
ドッジボール大会	11月21日(土) 予定	府立門真スポーツセンター	中学年 16校 高学年 24校	◎ 投力、体を巧みに動かす能力の向上を目指す
ジャンプアップ大会 (なわとび)	12月25日(金) 予定	府立門真スポーツセンター	大なわとび部門 30校 自由演技部門 6校 個人部門 (調整中)	◎ 跳躍力、持久力の向上を目指す ◎ 府内全小学校におけるなわとび運動の展開を目指す(なわとび級判定基準を府教委が提示) ◎ 大なわとび部門、自由演技部門に加え、個人部門を開催
駅伝大会 (長距離走)	2月20日(土) 予定	大阪市長居第2陸上競技場	(調整中)	◎ 走力、持久力の向上を目指す

熱中・協力・感動



子どもの笑顔

担当課：教育振興室 保健体育課  
 担当者：保健給食グループ 薬師寺・上野(祐)  
 内線：3470  
 直通：06-6944-6903

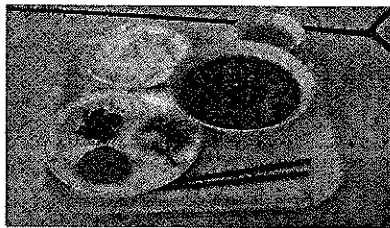
## 大阪府公立中学校スクールランチ等推進事業

【平成21年度当初予算額】 125,000千円【大阪教育ゆめ基金活用】  
 (@2,500千円×50校)

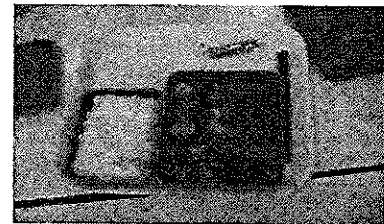
### 【目的】

平成21年度から、府内の公立中学校において、地域の実情に応じて学校給食又は学校給食に極めて近い手法で行うスクールランチ事業（以下「スクールランチ等」という。）を新規に実施する市町村（政令指定都市を除く。）を財政支援し、食育の推進と保護者の負担軽減を図る。

**スクールランチ**：民間等の校外調理場で調理された食事（衛生管理・栄養内容・おいしさ確保）を公立中学校で配膳して提供する選択制の昼食事業



食器方式(イメージ)  
 【ランチルーム等で食事】



ランチボックス方式(イメージ)  
 【教室・多目的室等で食事】

### 【事業内容】

平成21年度から23年度において、府内の市町村が公立中学校で実施する次に掲げる事業について、自主性及び独自性を発揮して展開できるよう、事業の新規開始に必要な初期費用の1/2を補助する。

- ① 新規スクールランチ事業
- ② 新規完全給食事業



### 【支援内容】

スクールランチ等を新規に実施する公立中学校において必要な下記の初期費用について、1校当たり2,500千円を上限として補助する。

- <工事請負費> 配膳室やランチルームの整備費用（単独・共同調理場整備費を除く。）
- <備品購入費> 温蔵庫・保冷庫の設置費用
- <消耗需用費> 食器・トレー等の購入費用

担当課：市町村教育室 小中学校課  
 担当者：生徒指導グループ 宮瀧  
 内 線：3438  
 直 通：06-6944-3819

## 学 校 安 全 交 付 金

### 【事業目的】

平成 17 年度から政令市を除く府内市町村立小学校及び特別支援学校において、児童等の学校生活の安全を確保するため、警備員等を配置する「学校安全総合支援事業」を実施してきましたが、平成 21 年度より 2 年間、市町村が地域や学校の実情に応じた施策展開を図ることができるよう、交付金を交付します。

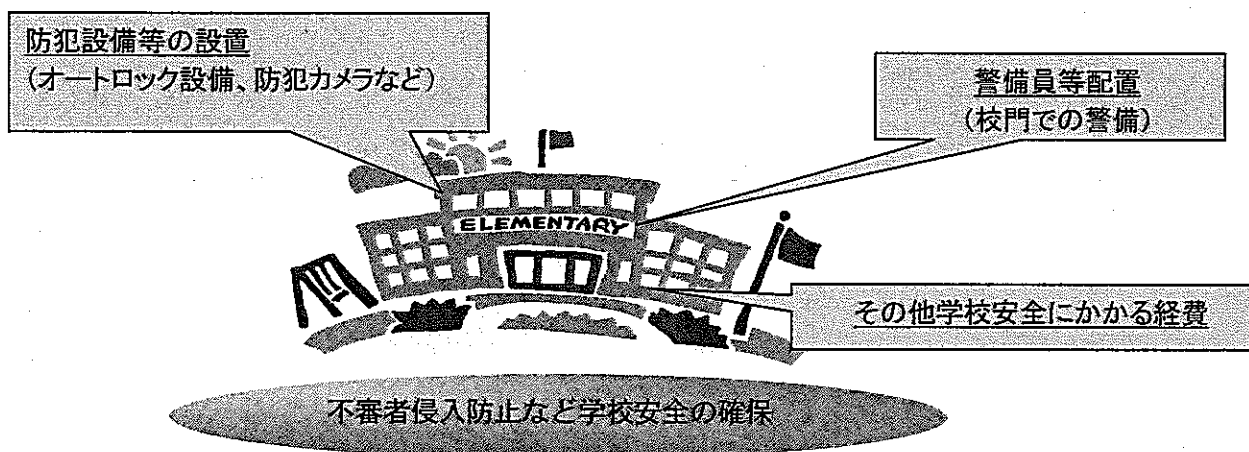
【平成 21 年度当初予算額】 500,000 千円

### 【事業内容】

市町村立小学校及び特別支援学校における不審者の侵入防止など学校の安全を確保するため、次の取組みを行う市町村（政令市を除く）に対し、交付金を交付します。

- ・ 警備員等の配置（配置時間等は実情に応じて）
- ・ 防犯設備等の設置
- ・ その他学校安全にかかる経費

※ 本交付金は平成 22 年度まで



(参考)

- 平成 20 年度実績（学校安全総合支援事業費補助金）  
 実施市町村 38 市町村（41 市町村中）  
 補助活用校 594 小学校（625 小学校中）1 特別支援学校

担当課:市町村教育室 地域教育振興課  
 担当者:地域連携グループ 太田、松本  
 内線:3463  
 直通:06-6944-6901

## 地域による学校支援緊急対策事業

H21,H22 市町村に対する定額補助事業 ～「大阪教育ゆめ基金」の活用～

### 目的

学校と地域の連携体制を構築し、「学校支援地域本部」の取組みを、地域に定着・発展させるため、「学校支援地域本部」の活動拠点となる地域住民の居場所づくりを行うとともに、子どもの生活リズムの向上などをねらいとする、地域による継続的な学校支援の取組みを促進する。

### 事業予算

総額: 97,200千円

### 事業内容

#### 1 学校支援地域本部拠点整備事業(メニューA)

- (1) 備品整備: 必須 ※ H21,H22年度のいずれかで実施、2年間で全291中学校区  
 国事業を効果的に活用し、事業終了後も、地域に培われた学校と地域の連携体制を継続・発展させるため、学校支援地域本部の(事務局)拠点を整備する。
- (2) 環境整備: 追加選択 ※ H21,H22年度、それぞれ50中学校区  
 余裕教室や学校図書室等を活用して、ボランティアどうし、ボランティアと子どもが交流する場所を整備する。

#### 【想定される整備】

- ・備品整備: パソコン、机、いす、書類保管庫等
- ・環境整備: カーペット、クーラー、その他教室内装整備等



#### 2 選択事業(メニューB)

※生活習慣の定着をねらいとする事業を含めて複数の事業を選択して実施

- (1) 生活習慣の確立に向けた取組み
  - ・地域の大人が、子どもたちの通学合宿を実施することにより、子どもたちに生活の知恵を伝える「おおさかコミュニティ合宿」の実施 (テレビ、ゲーム、携帯電話のない共同生活)
- (2) あいさつ習慣等を身に付けさせるための取組み
  - ・地域による3つの朝運動 (朝食、あいさつ、朝読書)の実施
  - ・「あいさつが自然にできるまち『大阪』の実現」に向けて取り組む「こころの再生」府民運動と連携した「あいさつ運動」の実施
- (3) 提案企画型の取組み
  - ・生活習慣や学習習慣の定着に向けた取組みなど、子どもの学力向上につながる取組みを、各市町村や地域で企画して実施
- (4) 府庁全部局が連携した取組み
  - 「世代間交流事業」(健康福祉部)、「みどりのカーテンで広げよう地域ネット」、「公立小学校等の運動場の芝生化」、「学校農園(菜園)づくり」(環境農林部)、「青少年健全育成のための取組み事業」(生活文化部)、「アドプロード等の府民協働の活用」(都市整備部)等



メニュー		定額(単価)	平成21年度	備考
A	備品	200千円	145中学校区 29,000千円	2年で291中学校区
	環境	200千円	50中学校区 10,000千円	2年で100中学校区
B	選択	200千円	291中学校区	291中学校区
			58,200千円	2年間
合計			97,200千円	

担当課	市町村教育室地域教育振興課
担当者	社会教育グループ 中道・小川
内線	3464
直通	06-6944-9372

## 国際児童文学館の中央図書館移転事業

### 【事業目的】

財政再建プログラム（案）に基づき、国際児童文学館の所蔵資料を一人でも多くの子どもたちに活用してもらえ、子どもの読書振興が一層図れるよう、中央図書館へ移転します。

#### ○ 移転後の状況（予定）

子ども室	248㎡	→	627㎡
閲覧室	248㎡	→	311㎡
書庫	880㎡	→	1,523㎡
子ども室蔵書数	2万4千冊	→	12万冊

【平成21年度当初予算額】 587,000千円

### 【事業内容】

#### (1) 中央図書館での受け入れのための環境整備

（単位：千円）

場所	項目	予算額	内容
地下1階書庫	電動書庫設置 工事等	416,182	国際児童文学館から移設する約70万点の資料等を受け入れるため、中央図書館の固定書架を撤去し、電動書庫を設置するなど、受け入れのための環境整備を行う
1階多目的 スペース	改修整備工事 等	118,201	子どものための閲覧スペースを一層充実させるための改修工事等を実施する

#### (2) 国際児童文学館の蔵書等移転

中央図書館への資料等運搬 業務委託	47,880	国際児童文学館の約70万点の資料等を中央図書館まで運搬し、電動書庫に配架する
----------------------	--------	--

#### (3) 他施設からの移転書籍等の再利用

書籍データ突合・コード入力・ 装備・配架等業務委託	4,737	労働情報総合プラザ等から移転される書籍の再利用を図るため、府立図書館データとの突合・コード入力・装備・配架等を実施する
------------------------------	-------	---



# 中央図書館への移転案イメージ

中央図書館 全景



・開館 平成8年5月10日  
 ・床面積 30,770㎡  
 ・年間入館者数 633,480人  
 (19年度：1日あたり2,271人)

## ● 中央図書館への移転により

- ・ 子どもの読書支援センター
- ・ 児童文化の総合資料センター

としての機能・事業を引き継ぎ、子どもたちや府民の一層の利用向上を図ります。

※ 市町村とのネットワークを生かし、市町村立図書館、学校図書館と連携し、子どもの読書活動の振興を図ります。

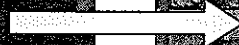
## ● 資料センター機能

- ・ 70万点の貴重な資料を確実に保管します
- ・ 引き続き、資料の収集に努めます

地下書庫（電動化改修前）



地下書庫（電動化改修後・イメージ）

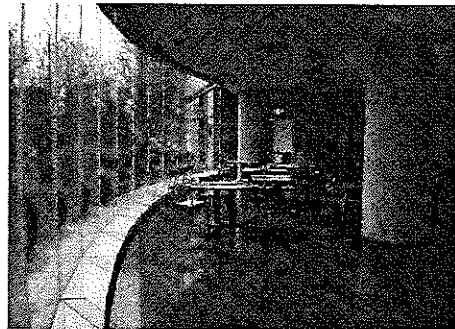


## ● 子どもの読書支援センター（閲覧室）

⇒ 311㎡ 児童文学館の約1.3倍

- ・ 子どもたちが直接本に触れる機会を提供します
- ・ 子どもの読書のために活動する人たちを支援します
- ・ 広く府民に活用いただきます

閲覧室に改修予定（現在は多目的ホール）

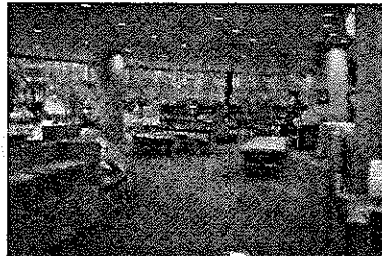


## ● 子ども資料室

- ・ すべての子どもたちの読書活動を支援します



おはなしのへや（読み聞かせ室）



視覚障がい児のための「わんぱく文庫」

担当課：市町村教育室小中学校課	教育振興室高等学校課
担当者：教務グループ 松元、安田	教務グループ 福永、柴
内線：5485	3420
直通：06-6944-3817	06-6944-6887

## 志や夢をはぐくむ教育推進事業

### 【事業目的】

大阪府教育委員会では、「『大阪の教育力』向上プラン（平成21年1月）」に基づき、これからの大阪の発展を担う子どもたちが、社会人として必要な規律、規範を身に付け、よりよい社会を創っていく「志」を持ち、充実した人生を送るために必要な「夢」をはぐくむ教育を推進します。

そのため、全国に先駆けて、小・中・高等学校で一貫した志や夢をはぐくむためのカリキュラムを開発し、教師用指導書、指導教材を作成します。

【平成21年度当初予算額】 3,940千円（一部：大阪教育ゆめ基金活用）

### 【事業内容】

#### (1) 小学校

- ・授業で活用するための指導教材の作成

##### <指導教材>

「希望、努力」「進取の精神」「個性伸長」「社会参画」といった内容の小学校版の教材を既存の資料も活用しながら作成します。

#### (2) 中学校

- ・夢や志をはぐくむための教師用指導書の作成

##### <教師用指導書>

「希望、努力」「進取の精神」「個性伸長」「社会参画」といった内容を中心に教材を選定し、指導過程、補助資料や教具等をまとめた教材ユニットを作成します。

#### (3) 高等学校

- ・「志（こころざし）学」の研究開発

##### <研究開発>

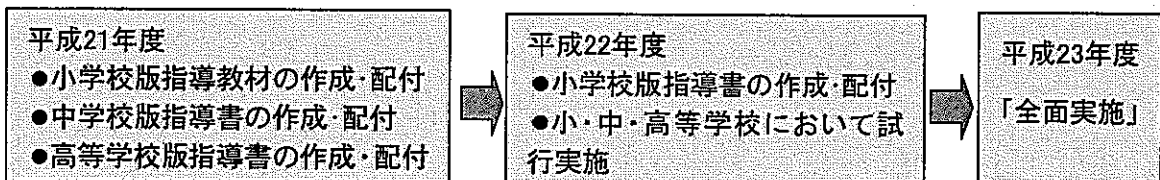
夢や希望、志を持ってよき社会人として自立するとともに、社会についての理解や健全な批判力等を養い、社会の発展に寄与する態度をはぐくむことを目的とした「志学」の研究開発を行い、教師用指導書を作成します。

平成23年度にすべての府立高校で展開

#### (4) 教材の活用

- ・指導書や指導教材には、読み物資料や体験活動のプログラムを取り入れます。学校は道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動の時間等で活用します。

計  
画



担当課：文化財保護課  
 担当者：指定文化財グループ 福田・三好  
 内線：3493  
 直通：06-6944-6907

## 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業

【平成21年度予算案】

2,278千円

### ■ 目的

世界に類を見ない貴重な歴史遺産である百舌鳥古墳群及び古市古墳群を永久に守り、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するため、大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市が共同して世界文化遺産登録をめざした取り組みを推進する。

### ■ 内容

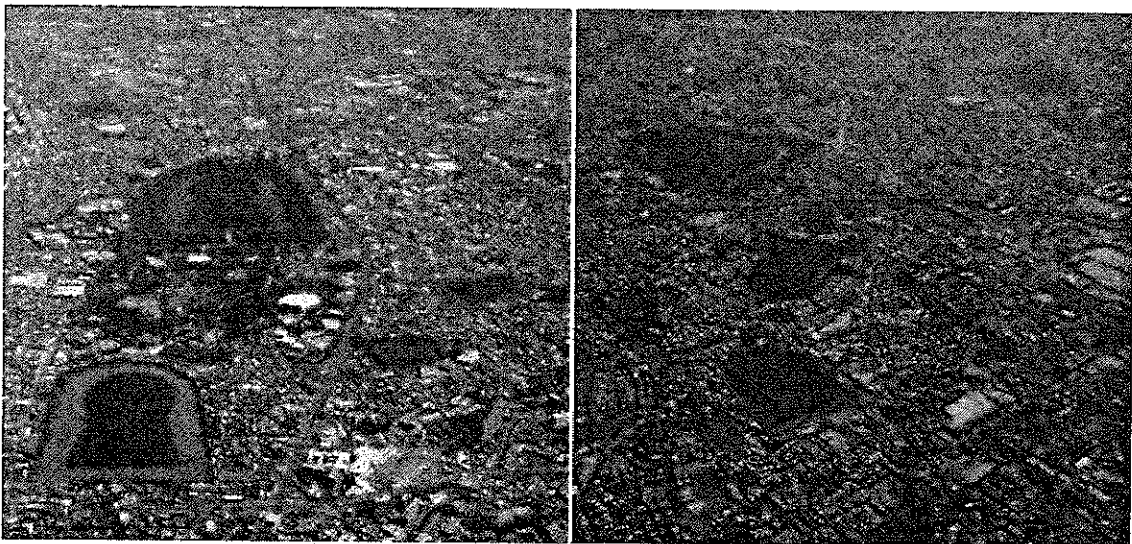
#### 事業概要

- ・世界文化遺産登録推進有識者会議の運営

世界文化遺産登録に向けた専門的な諸課題について、歴史学や都市計画などの有識者から助言を得て、登録に関する取り組みを進める。

- ・世界文化遺産登録推進府市合同会議の運営

世界文化遺産登録に向けて、登録に関する調整や保存管理計画の策定など、必要な事業を実施する。



百舌鳥・古市古墳群

[左：百舌鳥古墳群(堺市) 右：古市古墳群(羽曳野市・藤井寺市)]